

2. 地区住民アンケート調査の結果

●実施目的

「うるま市景観計画」で積極的に島の風景を守っていく地区の候補に位置づけられた「浜比嘉島地区」について、地区住民の意向を把握し、今後の島の風景づくりの参考とするため「浜比嘉島地区アンケート調査」を実施しました。

●実施概要

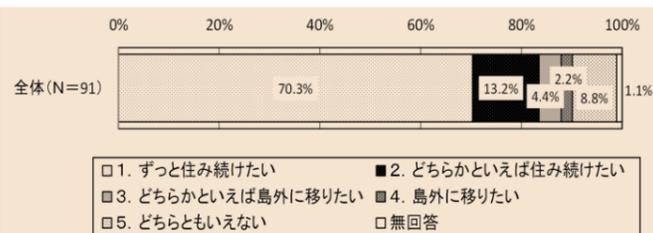
対象者：浜比嘉島の全世帯（259 世帯）
 実施方法：浜区（144 世帯）、比嘉区（115 世帯）の各自治会に全世帯への配布・回収を依頼
 実施期間：平成 25 年 10 月 25 日（金）～11 月 25 日（月）

●調査結果

アンケート結果については、主なものを以下に掲載します（詳細は市 HP に掲載しています）

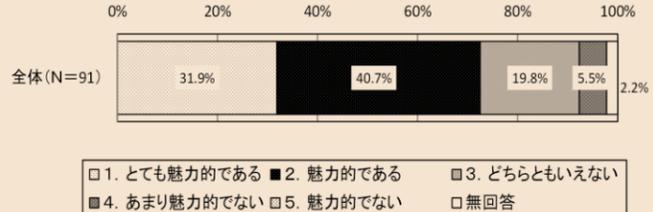
Q:あなたにとって浜比嘉島はこれからも住み続けたいと思いますか。

A:8 割以上が住み続けたい



Q:あなたは、浜比嘉島の景色(自然、集落、歴史文化等)は魅力的だと感じますか。

A:約 7 割が魅力的と回答



Q:浜比嘉島の風景は 10 年前と比べてどう変化しましたか。

A:約 5 割が「良くなった」、約 3 割が「悪くなった」



自由意見:大きく以下の点について意見・提案等がありました。

1. 清掃・美化に関する事(ゴミ散乱、雑草のび放題、廃棄物放置、垂れ流しなど)
2. 整備・活用に関する事(道路、駐車場、避難所、直売所、街灯、防風林、学校跡地など)
3. 保全・活用に関する事(空き家や伝統的家屋、石垣、サンゴ道など)
4. 集落景観の規制誘導に関する事(建物用途、建物の意匠・形態、自販機、看板類など)
5. 人材育成や組織に関する事(景観の保全や島の振興をリードする人材や組織など)

【お問合せ先】うるま市都市計画課 景観形成係
 Tel : 098-965-5620 Fax : 098-965-3565
 E-Mail : tokei-ka@city.uruma.lg.jp

平成 25 年度 うるま市景観地区等指定基礎調査 概要版

<調査の目的>

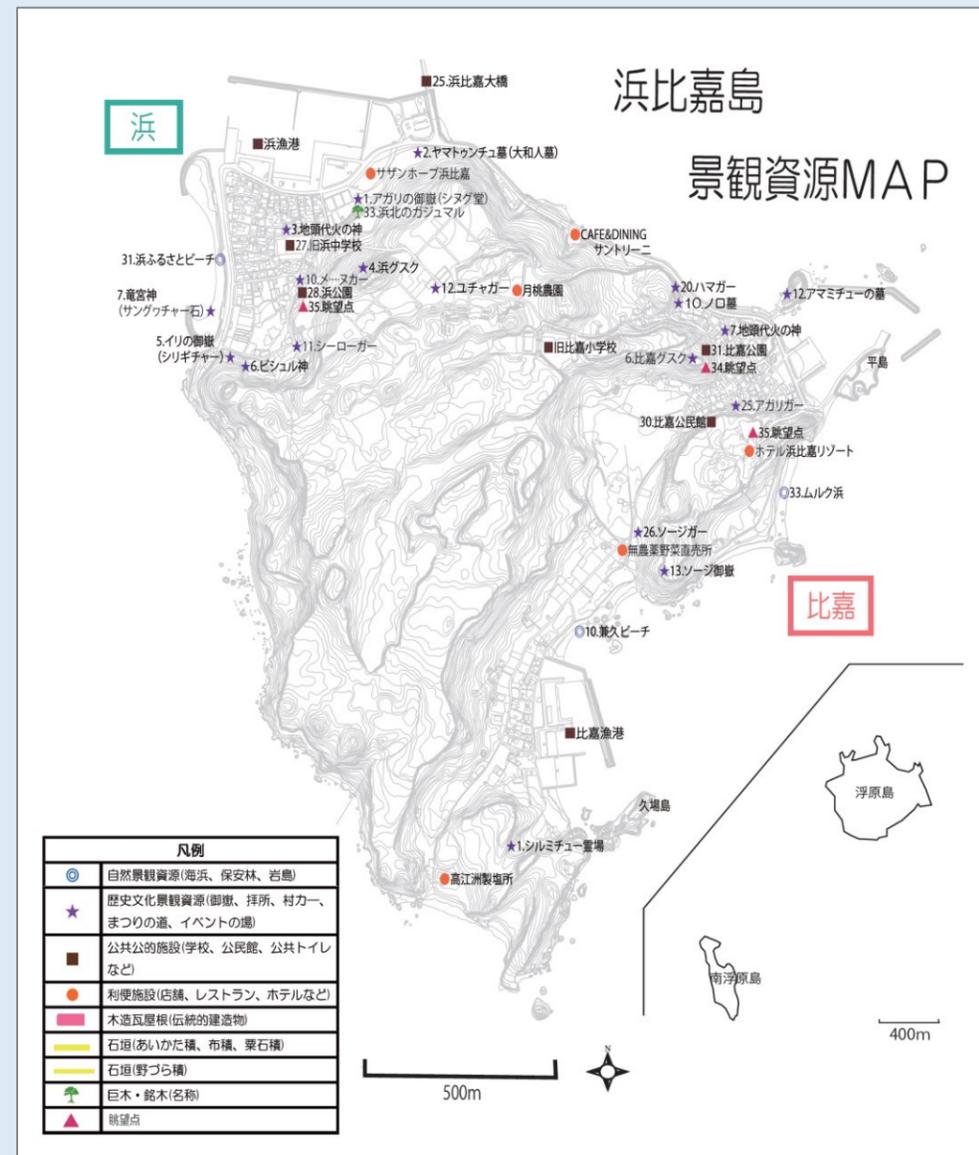
本調査は、「うるま市景観計画(平成 23 年 3 月に策定)」で位置づけられた重点地区候補の一つである浜比嘉島地区において、景観形成に関する住民の意向を把握するとともに、島の景観資源を抽出整理することを目的としています。

なお、今後の予定として、平成 26 年度は島の景観まちづくりについての共通理解を深めるため、区民とともに次のような勉強会を行う予定です。

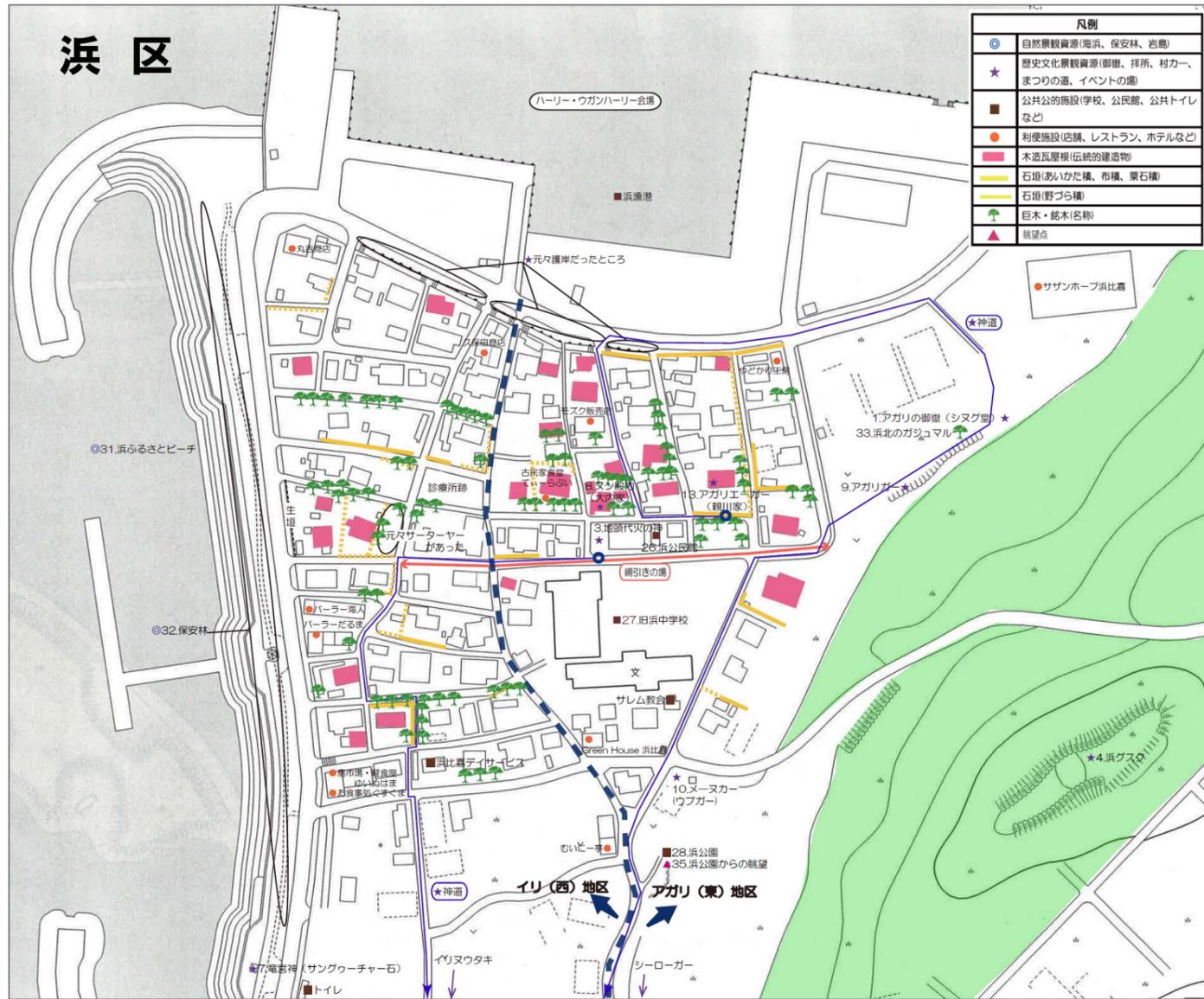
- ◎島の景観資源めぐり
- ◎景観法についての学習
- ◎他市町村の事例視察
- ◎浜比嘉島景観島づくりの目標・方針づくり

1. 浜比嘉島景観資源マップ

この景観資源マップは平成 25 年度うるま市景観地区等指定基礎調査の一つとして作成したものです。作成にあたってはこれまでの既存資料を参考にし、現地調査や住民懇談会を通して取りまとめを行いました。まず景観資源カルテを作成し、これらの資源をできるかぎり図面に載せましたが、貝塚・遺跡など図面には表示していない資源もあります。この景観資源マップは、住民と行政等と一緒に島の景観資源めぐりを行う際に活用します。



平成 26 年 3 月 沖縄県うるま市



◎31 浜ふるさとビーチ



◆26 浜公民館



★1 アガリの御嶽

◆公共的施設(学校・公民館・公園など)

No.	名称	概要
29	旧比嘉小学校	比嘉区にながら立地していた比嘉小学校は、2012年4月に過疎化と市の学校適正配置により彩橋小中学校に統合廃止された。
30	比嘉公民館	現公民館は「農村環境改善センター」という施設名称になっており、5班から兼久へ抜ける道の途中に立地している。敷地内に戦没者慰霊に碑が設置されている。
31	比嘉公園	比嘉グスクのふもとに位置する公園。かつてのアシビナーでもある。トイレやベンチなどが設置されている。

●観光サービス施設(店舗・レストラン・ホテルなど)

No.	名称	概要
32	観光関連施設	にし商店、ハル商店、CAFÉ&DINING サントリーニ、ホテル浜比嘉島リゾート などがある。

○自然景観資源(海浜・保安林・岩島など)

No.	名称	概要
33	ムルク浜	比嘉集落から兼久集落にかけて連なる白砂の浜。ホテル浜比嘉島リゾートのふもとにあたり、夏場は多くの海水浴客が訪れる。

▲主な眺望点

No.	名称	概要
34	比嘉グスクからの眺望	比嘉集落はもとより、平安座島、宮城島など周辺の島々への眺望が良好。
35	ホテル浜比嘉リゾートからの眺望	ムルク浜、浮原島、南浮原島など周辺の島々への眺望が良好。

<主な景観資源の概要(比嘉区兼久)>

★歴史文化景観資源(御嶽・拝所・村ガ-・まつりの場など)

No.	名称	概要
1	シルミチュー霊場	島の南東端の森の中に位置する。大きな洞穴があり、琉球開闢伝説の祖神、アマミチュー、シルミチューが居住したところと伝えられている。洞穴内には鍾乳石があり、子宝の授かる霊石として知られ広く子授けの信仰が行われている。

▼歴史文化景観資源(貝塚・遺跡など)

No.	名称	概要
2	比嘉兼久西丘陵遺物包含地	兼久集落の西方丘陵台地上に形成された遺跡。竪穴住居跡で構成される集落の存在が推測される。
3	浜比嘉大あぶ洞窟遺跡	浜比嘉の南側中央にある丘陵縁辺に位置する遺跡。内部は巨大なあぶ(ドリーネ状)になっている。
4	浜比嘉大あぶ洞窟北隣り洞窟遺跡	大あぶ洞窟遺跡の北側約20mに隣に並びように位置する洞窟遺跡。隣接する大あぶ洞窟遺跡とは異なり小形でやや半洞穴状になっている。
5	比嘉久場島遺跡	比嘉村落の兼久の海岸に独立した岩の島。遺物は沖縄貝塚時代後期の遺跡と考えられる。祭祀遺跡の可能性がある。十二か所めぐりの拝所のひとつで対岸の浜から拝む。
6	浮原島遺跡	島中央部のやや北側に掘り込み井戸があり、遺跡はその井戸の南側に分布している。沖縄貝塚時代後期(約2000年前)に属するものとされている。
7	比嘉兼久上原遺物包含地	比嘉集落南方に位置するソーシガーから分岐する道を起点に、南方向の兼久までの低平地に広く展開する遺跡。

●観光サービス施設(店舗・レストラン・ホテルなど)

No.	名称	概要
8	株式会社高江洲製塩所	昔ながらの流下式塩田を利用してつくられた100%海水塩。工房前の海岸より満潮時の海水のみを使用し、自然の力で濃縮された海水は塩工房内の平釜でじっくりと炊きあげている。
9	観光関連施設	バーラーあさひ、シーサイドガーデン浜比嘉、民宿ゆがの郷 などがある。

○自然景観資源(海浜・保安林・岩島など)

No.	名称	概要
10	兼久ビーチ	兼久集落入口に位置する白砂のビーチ。大小多くの岩があり、遠くに浮原島が望める。
11	浮原島	勝連半島の東方約6.7kmに位置する小さな無人島。1945年前後までは比嘉の漁師が暮らしていた。現在は自衛隊や米軍の訓練所となっている。
12	南浮原島	浮原島の南にある岩島。全体にアダンが密生している。マキを取るために使われていた。

参考資料：①うるま市教育委員会(パンフ浜比嘉島、ホームページ) ②勝連町の文化財第17集「勝連町の遺跡」(1993年3月) ③うるま市企業立地ガイド ④沖縄県土木建築部ホームページ ⑤沖縄県立博物館総合調査報告書 ⑥浜比嘉島の祭場と儀礼 ⑦「村落6号」浜比嘉島比嘉部落調査報告書(1984年 沖縄国際大学1部民俗クラブ) ⑧「みんぞく第20号(浜集落)」(2008年3月 沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科アジア文化ゼミ) ⑨「みんぞく第19号(比嘉・兼久集落)」(2007年3月 沖縄国際大学総合文化学部社会文化学科アジア文化ゼミ) ⑩株式会社 高江洲製塩所ホームページ ⑪インターネット月桃農園

◎自然景観資源(海浜・保安林・岩島など)

No.	名称	概要
31	浜ふるさとビーチ	ふるさと海岸整備モデル事業により整備された人工ビーチ。
32	保安林	島の要所には保安林が形成されており、厳しい自然から集落や島の暮らしを守っている。
33	浜北のガジュマル	東の御嶽(シヌグ堂)内に生育するガジュマル。地上から多数に分岐する幹は複雑怪奇に展開し、多くの気根が垂れると共に幹にも気根が絡みつき威容を誇っている。
34	月桃農園	月桃を栽培している有機JAS認定の農園。

▲主な眺望点

No.	名称	概要
35	浜公園からの眺望	浜集落の南側半分と与勝半島への眺望が開けている。

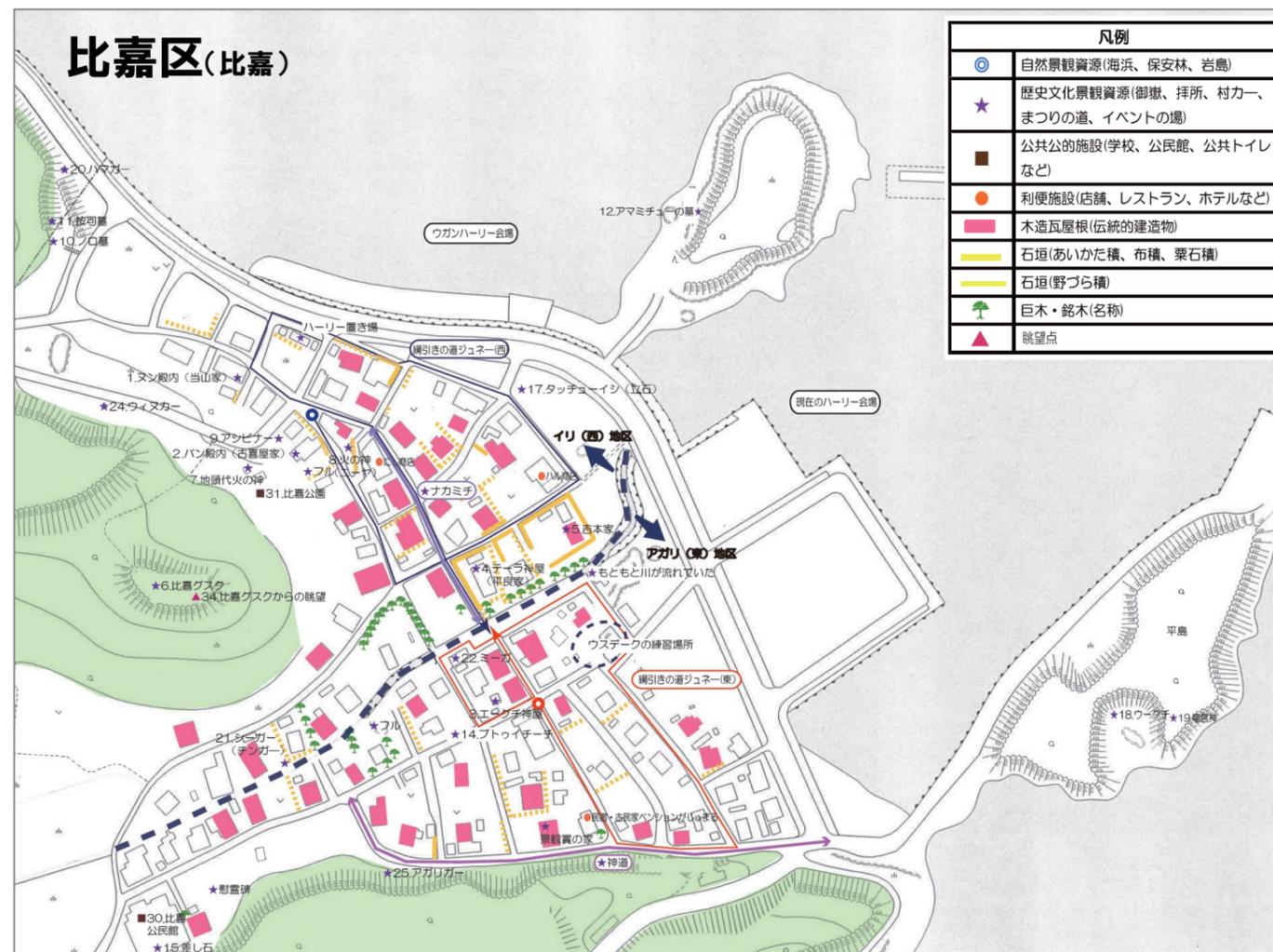
<主な景観資源の概要(比嘉区)>

★歴史文化景観資源(御嶽・拝所・村ガ-・まつりの場など)

No.	名称	概要
1	ヌン殿内(当山家)	比嘉グスクの登り口近くに所在する。ノロの神及びノロ火の神がアシャギに祀られている。ハマガーの嶽の神が一番座の神棚に祀られている。十二か所めぐりの拝所のひとつ。
2	ハン殿内(古喜屋家)	先祖がウッチ(区長のようなもの)をしていたのでハン殿内という。一番座にシルミチューの神が祀られている。十二か所めぐりの拝所のひとつ。
3	エークチ神屋(栄口家)	ワークガ-というソーシ御嶽の神が祀られており、ソーシ御嶽とヒエチー(ひき合わず)になっている。集落の健康祈願・家内安全祈願のために行われる十二か所めぐりの拝所のひとつ。
4	テラ神屋(平良家)	アマミチューの神が祀られている拝所。カミヤーには2つの香炉があり、右側はシルミチューの神であるともいい、またクディングワのウタナであるともいう。十二か所めぐりの拝所のひとつ。
5	吉本家(マシムトゥンヤ)	主屋は、明治末頃にチャ-ギを使用して建てられた貴木屋形式の平屋本瓦葺の家屋であったが2010年の火災で全焼した。沖縄の地方に残る伝統的な建築様式を色濃く残している。
6	比嘉グスク	比嘉集落の高台に位置する。グスクに上ると広場になっており、グスクの拝所には貝殻などが祀られている。ウマチーの際にはこの貝が祀られた場所で拝みが行われる。
7	地頭代火の神	比嘉の旧公民館向いの小高いところにあり学問の神とされている。旧暦4月14日のアプシハレーの時に拝み、現在では受験生が拝むこともある。戦後すぐまではムラヒヌカンも一緒にあった。
8	火の神(ニーヤ)	ムラヒヌカンと呼ばれる。以前は海の方を向き比嘉グスクを拝むような形となっていた。それ以前は旧公民館の近くにあった。十二か所めぐりの拝所のひとつ。
9	アシビナー	比嘉グスクの下に位置し、ウステークやエイサーなどが催される。
10	ノロ墓	比嘉集落の北西、ハマガーの上方にある。内部には大きな厨子甕があり、それを小さな厨子甕が囲むように配置されている。十二か所めぐりの拝所のひとつ。
11	按司墓	ハマガーのノロ墓の上方にある洞窟。ガマの中には木製の棺がある。
12	アマミチューの墓	アマンジと呼ばれる岩島の中腹の岩陰を利用した墓。地元では沖縄を誕生させた琉球開闢伝説の祖神アマミチュー、シルミチューの男女二神及び他の神が祀られていると伝えられている。旧正月の年頭拝みなどで集落の豊饒・無病息災・子孫繁昌を祈願する。
13	ソーシ御嶽	比嘉集落から兼久へ向かう途中の海岸にある御嶽。近くにはソーシガ-もある。1970年頃の道の拡張工事によって現在の場所に移された。現在は旧暦の年頭拝みで祈願する。
14	ブートゥイチー	比嘉集落内にある石柱。子どもがこの石よりも高くなると村の賦役の対象となったことからブートゥイチーと呼ばれる。高さ4尺(120cm)ほどあったが、現在は一部が埋まっている。また、この石には比嘉グスクの神様が座ったり、馬のたづなを結んだりするとも伝えられている。
15	差し石	カ比ベの石。大小2つあったが、小さいのは現在比嘉公民館内に置かれている。
16	まつりの道など	綱引きの場、ミチジュネ-の順路/ハーリーの場、ウガンハーリーの場/カミミチ(神聖な道、ガンを運ぶ時に通ってはいけない道だった)/グソーミチ(後生道はガンを運ぶ際に通る道)/ナカミチなどがある
17	タッチウイシ	3班にあり、フンシ(風水)的に比嘉集落を守る形になっているとされる。
18	ウークチ	平島にある。サングワチャーの際に拝みが行われる。
19	リュウグウ(竜宮)	平島にある拝所。戦後つくられた。浜比嘉の人は拝まない。
20	ハマガー(ウブガ-)	比嘉部落のウブガ-で海岸沿いにある井泉。出産の時の産水、葬式の時の死水をくむ。十二か所めぐりの拝所のひとつ。
21	シーガ- (チンガ-)	衣服を洗濯するためのカーで暑い夜には水浴びもした。着物のことをチンということからチンガ-ともいう。今は水が涸れている。
22	ミーガ-	比嘉集落の中央にあり、かつて水が豊富で洗濯物や野菜を洗い子どもたちが水遊びをしたが現在は涸れている。井戸周りの石垣は戦後に造られた。
23	ハルガ- (ウキンシュガ-)	山の麓に位置している。水量が豊富だったため稲作のときに活用した。現在はいつ部の農水として利用されている。ハルガ-の近くには今でも水田の跡地とわかる蒲の植生がみられる。
24	ウィヌカー(上ヌカー)	旧比嘉小学校へ行く途中にある。旧正月の若水汲みの際、ヌドゥンチとテラだけはこのウィヌカーで若水を汲む。また、集落の西側の家が飲み水として使ったのでイリガ-とも呼ばれる。
25	アガリガ- (東ガ-)	村の東側に位置する井泉。戦前は水が豊富だったことから生活水や洗濯の場所として使われていた。1960年ごろ井戸の周りをコンクリートで固めた。現在は旧暦の年頭拝みなどで祈願される。
26	ソーシガ-	比嘉集落と兼久集落のほぼ中間地点の小高い山の麓にある井泉。ソーシ御嶽と一対になっている。神様がシルミチューからの帰りに手足を洗ったという。十二か所めぐりの拝所のひとつ。

▼歴史文化景観資源(貝塚・遺跡など)

No.	名称	概要
27	比嘉大川遺跡	比嘉集落の南西外れに広がる畑地に分布する遺跡。
28	浜比嘉小学校東方遺跡	旧比嘉小学校から東方約75mの石灰岩丘陵下に位置する遺跡。



▲34 比嘉グスクからの眺望



★1 シルミチュー霊場



★15 差し石



◎32 ムルク浜



◆25 浜比嘉大橋



◆27 旧浜中学校



★9 アガリガ-



◎33 浜北のガジュマル



◆29 旧護岸



★8 ヌン殿内



★13 親川家



★10 メヌカー



★7 竜宮神



★14 カミミチ



★3 地頭代火の神



★14 網引きの場



★20 ハマガ-



◆28 浜公園



★5 イリの御嶽



★11 シーローガ-



★17 タッチウイシ



★7 地頭代火の神



★8 火の神



★12 アマミチューの墓



★14 ブトウイチャーチ



★16 ナカミチ



★22 ミーガ-



★18 ウグチ



★21 シーガ-



★25 アガリガ-



◎8 兼久ビーチ



●11 高江洲製塩所

<主な景観資源の概要(浜区)>

★歴史文化景観資源(御嶽・拝所・村ガ-・まつの場など)

No.	名称	概要
1	アガリの御嶽(シヌグ堂)	旧暦6月と8月に海の時化を祈願する「シヌグ祭り」が行われることから「シヌグ堂」とも呼ばれている。シヌグ祭りは昔、戦に敗れた南山の平良忠臣とその仲間が浜に渡って、シヌグ堂に身を隠し難を凌いだ、という故事から始まっている。
2	ヤマトウンチュ墓(大和人墓)	天保10年(1839)の水戸藩船が漂着した歴史を伝えている。水戸藩廻船漂着文書には、救助された水戸藩の周蔵と仙台領の宇(加)太郎が無事帰国することができ、救助前に死亡した5人をこの地に葬ったと伝えている。
3	地頭代火の神	浜公民館敷地内にある拝所。火の神の依代として三個の霊石を祀っている。琉球王府時代、浜には地頭代のおえか地(役地)があり、「地頭代火の神」が奉安されたのはこの為とされている。今日でも、立身出世の神として、進学、旅立ちに際し祈願されている。
4	浜グスク(イリグスク)	浜集落を見下ろせる位置に築かれている。集落の北側崖部分に野面積みの石垣があり、南東の崖の面に古墓がある。グスク内は北側と南側で2メートルほどの落差があり2つの曲輪からなっている。グスク土器や陶器、須恵器などが出土している。
5	イリの御嶽(シリギチャー御嶽)	浜集落の南に位置する御嶽。旧正の年頭拝みなどで祈願される。
6	ビジュル神	イリの御嶽内にある拝所。
7	竜宮神(サングウチャー石)	旧暦3月3日のサングウチャーに豊漁と航海安全などを祈願する拝所。埋め立て前は海岸に平たい大きな石があり、海獣のジゴコンや魚類、豚などを解体する場所であった。
8	ヌン殿内(大内家)	琉球王府から大内家のノロ(祝女)に献上された扇がカンヤ-に祀られていた。現在の大際新しいもの。旧正の年頭拝みなどで祈願される。
9	アガリガ-	旧正の年頭拝みなどで祈願される。
10	メヌカー(ウプガ-)	浜集落の東南端にあるウプガ-とも呼ばれる井泉。旧正月の若水や赤ちゃんの産水はこの井泉から汲んだ。亥の年に行われるウプアシビの行事では祈願が行われ踊りが奉納される。
11	シーローガ-(水道ガ-)	水量が豊富で稲作の水を引いていた。農作業の休憩地でもあった。現在はコンクリートで囲って水を貯めポンプで汲みあげて農業用水に利用している。旧正の年頭拝みなどで祈願される。
12	ユチャガ-(せちや川)	かつて稲作にはシーローガ-の水を使用していたが、その水が足りなくなった場合はユチャガ-から水を引いていた。
13	アガリエガ-(親川家)	集落の東、2班に位置する旧家。あいかた積の見事な石垣が残る。旧正の年頭拝みなどで祈願される。
14	まつの場	網引きの場(公民館前の道)/ミチジュネ-の順路/ハーリーの場(浜漁港)/カミミチ(集落内)などがある。

▼歴史文化景観資源(貝塚・遺跡など)

No.	名称	概要
15	浜貝塚	浜集落の南半分から山の麓まで広く分布する。沖縄貝塚時代後期(弥生~平安時代)の貝塚。
16	浜桃源遺跡	浜集落南東側のウプガ-周辺一帯に展開している遺跡。グスク時代の陶磁器や近世の陶磁器などが採集されている。現在の浜集落の元島になるのではと考えられている。
17	浜グスク東南畑遺物包含地	浜グスクの東南の台地部分に分布する遺跡。僅かにグスク系の土器が採集された。
18	浜吉田川の上洞窟遺跡	旧比嘉小学校の西方に隣接する東西に長い丘陵の一角にある遺跡。
19	ミーハンチャー洞窟遺跡	旧比嘉小学校東隣の丘陵部に位置する遺跡。
20	浜ナゴ-ヌチチ遺跡	浜グスク東南方向約200mに位置する独立丘陵上にある遺跡。丘陵の北側崖下の斜面地域で土器が採集される
21	浜比嘉はちまん洞窟遺跡	旧比嘉小学校北側の丘陵上に位置する。洞窟中央部にある鍾乳石(高さ約60cm)には珍しい模様が見られる。旧石器時代の遺跡としているが、現在のところ明確にはされていない。
22	浜比嘉中の御嶽洞窟遺跡	旧比嘉小学校北方の丘陵上に位置する洞窟遺跡。
23	浜比嘉浜川洞窟遺跡	比嘉集落の北側海岸に突き出るようにある崖の中腹部分に位置する遺跡。
24	浜要川丘陵洞窟遺跡	浜集落から南方の丘陵へのびる山道を約600m南進した牧場入口の丘上の遺跡。洞窟はかつて墓として使用され、左側から奥に天井側をあげた石積みの墓が三基みることができる。

◆公共的施設(学校・公民館・公園など)

No.	名称	概要
25	浜比嘉大橋	一般県道浜比嘉平安座線事業として実施。平成4年度に橋梁部を着工し平成8年度に供用開始された。
26	浜公民館	集落の中心に位置し、地頭代火の神に隣接して立地している。集落行事の遂行や行政との橋渡しなど集落運営全般に係る機能を担っている。
27	旧浜中学校	浜区にながらく立地していた浜中学校は、2012年4月に過疎化と市の学校適正配置により彩橋小中学校に統合廃止された。
28	浜公園	平成元年に農村総合整備モデル事業で整備された。公園内にはトイレやベンチがあり、戦没者慰霊の碑などがみられる。
29	旧護岸	現在の浜漁港が整備される前の護岸が残されており、当時の海岸線の位置が確認できる貴重な資源。

●観光サービス施設(店舗・レストラン・ホテルなど)

No.	名称	概要
30	観光関連施設	サザンホープ浜比嘉、ヤドカリ工房、Green House 浜比嘉、モスク販売店、久保田商店、古民家食堂でいーらぶい、丸吉商店、パーラー海人、パーラーだるま、島市場・軽食屋ゆいぬはま、お食事処くすくま、むいにー亭、413ホテル&カフェ などがある。